

式 辞

桜の花もいよいよ開花目前、温かな陽光に校舎が映える今日の佳き日に、今、1、2年生の代表者に修了証書を渡しました。修了という意味は、単に「各学年が今日で終わった」という意味ではありません。それぞれの学年で取り組んできた「学習内容」や「心の成長」が「しっかり身に付いた」ということです。

皆さんは、今年1年間、「努力」をする中で、何らかの成果が出たでしょうか。これまでの式辞の中で、何もしなければ達成できないけれど、少し努力すれば達成できる、実現できる目標を設定してほしいと言ってきました。

しかし、この3学期を振り返れば、1月21日から香川県がまん延防止等重点措置対象地域に指定され、約2か月適用期間が続いたため、部活動をはじめ十分な活動ができませんでした。皆さん自身も気持ちがどんよりしていたのではないのでしょうか。目標達成に向けて努力したくてもできない日々を経験し、悔しくてやるせない思いをした人もいるかもしれません。そんな皆さんの努力は、これから必ず再スタートを切るだろうと私は信じています。

さて、人は目標を立てたら、その達成に向けて努力します。問題は、その努力が続くかどうかです。人は目に見えるものや、すぐに成果が現れるものは、やる気が出て努力が続きますが、「見えにくいもの」「時間がかかるもの」「成果がなかなか現れないもの」に対して、努力が続かないことがあります。

大切なのは成果が現れないときこそ、気持ちを切り替え頑張ることです。そして、そのときの努力で人生が変わります。途中であきらめたり、挫折したり、人のせいにしてやめてしまえば成功はあり得ません。

本日、通知表を担当の先生から受け取ります。学習の記録や所見欄に、皆さんが本年度一生懸命に取り組んだ成果や課題が示されています。

ただ、すべての成果が現れるとは限りません。そんなときこそ力を貯めて、いずれ大きな花を咲かせるのだと頑張っしてほしいと思います。

修了そして進級という一つの節目にあたり、次の言葉を贈ります。

「考えは言葉となり 言葉は行動となり 行動は習慣となり 習慣は人格となり 人格は運命となる」

これは、イギリス初の女性首相となったマーガレット・サッチャー（1925～2013）さんが述べた言葉です。自分の考えを言葉として発し、それを行動化することで習慣となり、習慣は人格にも影響を及ぼし、ひいては運命も変えていくという意味です。サッチャーさんは、当時「鉄の女」と呼ばれていました。鉄のように意思が固かったためです。彼女はこの言葉を信じ、実践することで人生を切り拓いていったのです。

本年度一年を振り返り、もし、あなたが自分の課題を見出し、今のままではだめだとか、今よりもっと自分を高めたいと考えているならば、サッチャーさんの言葉に当てはめて、

①まず考え方を変える ②やるべきことを言葉に発する ③即実行する、そう意識を変えて実際に動くようにします。

繰り返していくうちに、その動きが習慣化され、自分の気持ちにも変化が現れます。そうすると、まわりの人から今よりもっと信頼されるようになり、きっと人生も変わってくるはずですよ。

皆さんは、やればできる人です。卒業した3年生を含めて、本年度を振り返れば、コロナ禍の中、運動会でカー杯中部ソーランを舞い、合唱コンクールではクラスで一つになって素晴らしいハーモニーを奏でてくれました。また、生徒会活動にも力を注ぎ、各種のボランティア活動にたくさんの方が参加してくれました。今やそれらが中部中学校のよき伝統、よき校風となっています。これからも、現状に満足することなく、やるべき事を実行することで、自分を高め、本校をさらに盛り上げていってほしいと考えています。

最後になりますが、4月には学年が一つ上がり、新たに中学1年生が入学してきます。皆さんがよき先輩、よき手本となることを期待します。明日から春休みになりますが、まずは1日1日を大切に過ごしてください。そして始業式には元気な顔を見せてください。

令和4年3月24日

観音寺市立中部中学校長 三好 健浩

【お知らせ】

私から来年度に向けて皆さんにお知らせが2つあります。

一つは、来年度からすでに小学校では当たり前になっているし、他校でも多くの学校で取り入れています。簡単に言えば、出席番号が男女の区別なく、アイウエオ順になるということです。

もう一つは、部活動についてです。本校の部活動は、現在、外部のクラブチーム等で活動している場合を除き、原則としていずれかの部活動に入ることになっています。この必ずいずれかの部に入るという原則を解消します。

ただし、新2年生、3年生については、すでにユニホームや用具も揃えて活動しているので、特別な事情がない限り、今の部を継続してほしいと考えています。

以上です。

離任挨拶

ロシアのウクライナへの軍事侵攻から今日で1か月経ちました。そして、昨日ウクライナのゼレンスキー大統領が昨日、日本の国会で演説しました。

そのなかで、こんなことを言いました。

「日本は発展の歴史が著しい国です。調和をつくり、その調和を維持する能力は素晴らしいです。また、環境を守り、文化を守るということは素晴らしいことです。ウクライナ人は日本の文化が大好きです。それはただの言葉ではなくて、本当にそう思っているのです。」

国際化が進むグローバルな時代に生きるあなたたちへ

世界の人々は、戦争や地震などの災害などに何度も見舞われたにもかかわらず、そのたびに立ち上がる日本の国を本当に素晴らしい国と思っています。そこには、「調和」という言葉に象徴されるように、人と人のつながりを大切にする日本の文化が基盤にあります。

忘れないでください。あなたも日本人です。まだまだコロナ禍は続いています。友だち、家族、先生との関係を大切にしながら、困難を乗り越えていく、自分の進路を切り拓いていく人になってください。

私は三度、この学校を去ることになりましたが、中部中学校が大好きです。皆さんを心から応援しています。さようなら。